



10月
15日

守山音頭を踊ろう



市文化協会有志がボランティアで園児に踊りを伝授
 来年、市が市制50周年を迎えることから、みんなで守山音頭を踊ろうと、市文化協会(民謡)の有志がボランティアで市内の幼稚園などで踊りの振り付けを伝授。この日は吉身幼稚園を訪れ、振り付けを一つ一つ「るりんパン」などと教え、後、輪になって実際に守山音頭を体験しました。園児たちは歩きながら踊る所作に戸惑いながらも、一生懸命に踊っていました。

10月
14日

埋蔵文化財センター秋季特別展



木と人のかかわり2 木製出土品から古代の暮らしを探る
 埋蔵文化財センターで10月5日から秋季特別展が開催されています。今回のテーマは「木と人のかかわり2」。木器からみた原始の生業とまつり。市内の遺跡などから出土した約190点の古代の木器が展示されています。県内外から訪れた歴史愛好家らが木器や木製品と解説を、一点一点熱心に見入っていました。珍しい木器の特別展は12月1日まで開催されます。

10月
23日

中学生と園児がふれあい



市立守山中3年が若鮎保育園を訪れふれあい交流
 市立守山中学校の3年生約200人が、家庭科授業の一環で、クラスごとに若鮎保育園の園児たちと交流しました。
 この日は3年1組の生徒35人が3歳児22人とふれあい、膝のせて一緒に柔軟体操をしたり、動物の親子になりきるゲームをするなど楽しんでいました。園児の生活を学んだ生徒は「かわい。でもけつこつ疲れます」などと話していました。

10月
17日

小津こども園10周年



園児ら約2000人 ケーキの形で お祝いしたよ
 開園から10周年となる小津こども園では、お誕生日を祝おうと航空写真を撮ってもらいました。園児ら203人は運動会の中から「こども園の誕生日」と盛り上がり、上がってきました。この日、園庭に出た園児らは航空写真撮影のヘリコプターが近づいて来るのに合わせて、白や赤、オレンジ色の色紙を持ってパースデーケーキの形を描き、みんなで園のパースデーをお祝いました。

守山市の人口
 令和元年10月31日現在 (前月比)

人口	83,701 (+ 131)
男	41,314 (+ 51)
女	42,387 (+ 80)
世帯数	32,630 (+ 67)

双眼鏡
 私は人と話すのが好きだ。自分の知らない世界へ連れて行ってくれるからだ。その新たな世界が自分の世界に結びついて広がっていく。人と話しているうちに、また新たな人とつながり、さらに自分の世界は広がる。でも、会話もたらす一番の効果は、心が穏やかになることだと思おう。あなたがいるから私がいる。私がいてあなたがいる。人と人がつながっているからこそ、見えない安心に包まれ、自分が自分であることができる。夢・希望に向かつて歩いていけるのだと思おう。最近、SNSの発展により、人と人のつながりが減っているという。自分からこんな素晴らしいことを手放すなんてもったいない。もしかしら、人と人のつながりから生まれる素敵な世界を体感したことがないのかな? (丸)